

令和5年産

# 仙台麦作情報

2023. 3. 23 第5号

宮城県仙台農業改良普及センター

Tel 022-275-8410 Fax 022-275-0296

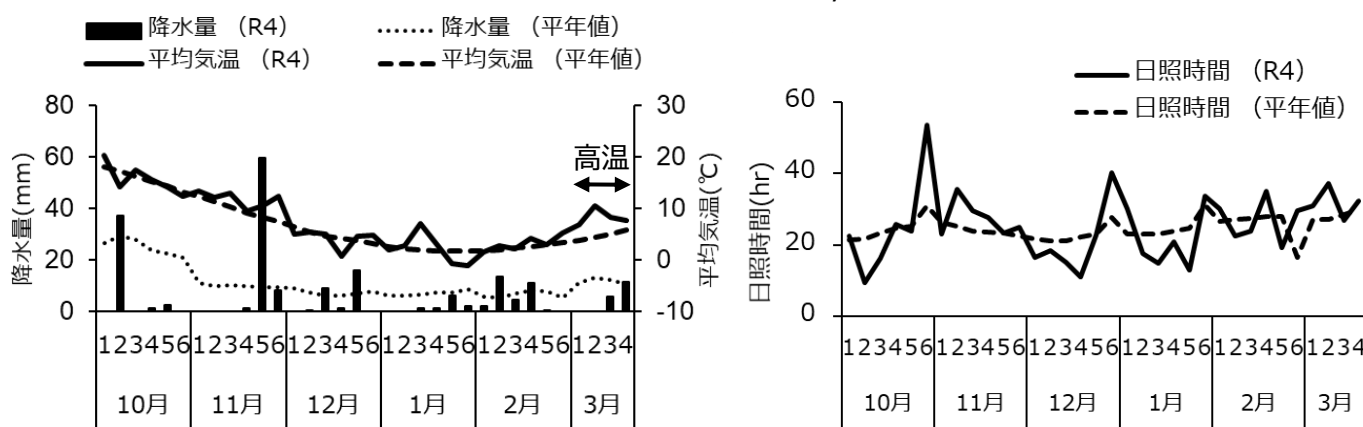
<https://www.pref.miyagi.jp/site/sdnk>



## 今後の栽培管理のポイント

- (1) 適期追肥の実施 (2) 排水状況の確認 (3) 茎葉処理剤による雑草防除

### 1 気象経過 (10月第1半旬～3月第4半旬, 仙台アメダス)



- ・気温：10月から概ね平年並で推移していましたが、3月は平年に比べて高い傾向が続いています。
- ・降水量：1月第3半旬から2月第5半旬にかけて、降水量は多くないものの降雨日が続いたため、一部ほ場では麦踏みが難しい場合があります。

### 2 大麦生育調査結果 (3月17日現在)

- ・仙台市 (シュンライ, ホワイトファイバー)  
適期に播種され、天候に恵まれたことから、莖数はいずれも900本/m<sup>2</sup>以上でした。シュンライの幼穂長は5.9mm、ホワイトファイバーの幼穂長は4.8mmで莖立期に入りました。
- ・大和町 (ホワイトファイバー)  
播種期が適期からやや遅い10月26日でしたが、播種後の天候に恵まれたこともあり、莖数は735本/m<sup>2</sup>と概ね順調な生育です。幼穂長は2.4mmで、莖立期に入りました。また、鳥の食害が一部見られました。

表 各ほ場における生育ステージ予測

ほ場	品種	減数分裂期	出穂期	開花期
仙台市宮城野区	シュンライ	4月8日	4月17日	4月23日
	ホワイトファイバー	4月10日	4月17日	4月25日
大和町落合		4月20日	4月26日	5月4日

表 生育調査ほにおける生育調査結果（令和5年3月16～17日調査）

品種	ほ場	条間(cm)	播種日		草丈(cm)		莖数(本/m <sup>2</sup> )		幼穂長(mm)	
			本年	前年差	本年	前年比(%)	本年	前年比(%)	本年	前年差
シュンライ	仙台市 宮城野区	22.7	10月16日	-6	16.0	132	956	97	5.9	+3.4
ホワイト ファイバー	仙台市 宮城野区	21.6	10月15日	-9	15.3	122	995	104	4.8	+2.5
	大和町 落合	34.2	10月26日	—	14.8	—	735	—	2.4	—



仙台市シュンライ



仙台市ホワイトファイバー



大和町ホワイトファイバー

### 3 今後の栽培管理

大麦・小麦ともに、生育ステージの進みが平年よりも早い傾向となっています。  
適宜生育ステージを確認し、各作業が遅れないようにしましょう。

#### (1) 適期追肥の実施

★追肥量については次ページの[表 追肥の目安]を参考にしてください。

##### 【幼穂形成期の追肥】

- ・ 追肥時期：幼穂長 2 ～ 3 mm の時期
- ・ 小麦は3月下旬～4月上旬頃に幼穂形成期に達すると予想されます。  
⇒平年に比べて小麦も生育が早い傾向にあるため、適宜生育ステージを確認し、確実に追肥を行いましょう。
- ・ 麦類は幼穂長が 2 mm を超える頃から莖立ちし、幼穂や節間の伸長が急激に進むため、この頃の窒素栄養状態の悪化は有効莖歩合の低下を招きます。
- ・ 効果：穂数の増加

##### 【減数分裂期の追肥】


- ・ 追肥時期：幼穂長 3 cm の時期  
適期に播種された大麦のほ場では、減数分裂期は4月10日頃と推測されますが、今後平年よりも気温が高くなる予報なので、適宜生育ステージを確認しましょう。
- ・ 効果：1穂粒数の増加、千粒重・容積重の向上  
平年に比べて穂数が多くなっているほ場が多いと考えられます。細麦にならないように、減数分裂期の追肥を確実にいきましょう。  
※減数分裂期から追肥時期が遅れると、硬質麦の原因となる恐れがあります。

表 追肥の目安

追肥の種類 (生育ステージ)		幼穂形成期 (幼穂長2~3mm)	減数分裂期 (幼穂長3cm)	穂揃期 (8~9割が出穂)
目的		有効茎歩合増加 (穂数の確保)	一穂粒数の増加 登熟良化	小麦の子実タンパク質 含有率の向上
大麦	時期	3月上~中旬	4月上~中旬	4月中~下旬
	10a当たり 施用量	窒素成分2.5kg (硫安12kg)	窒素成分2.5kg (硫安12kg)	硬質麦防止のため 実施しない
小麦	時期	3月下旬~4月上旬	4月下旬	5月中旬
	10a当たり 施用量	窒素成分2.5kg (硫安12kg)	窒素成分5kg (硫安25kg)	窒素成分2~2.5kg (硫安10~12kg)

※時期はおおよその目安です。実際には、ほ場の幼穂長を確認し、追肥時期を判断しましょう。

※大豆後のほ場では、生育旺盛の場合を除き、規定量の追肥を行っても問題ありません。

〔  追肥量が多すぎると倒伏の原因となるので、適期・適量施用に努めましょう。 〕

## (2)排水状況の確認

降雨によるほ場の停滞水を速やかに排出することが重要です。「暗きよの再点検（閉じていないか）」「明きよの手直し」を行いましょう。

[節間伸長期~出穂期]に湿害が及ぼす影響→弱小分けつの枯死、穂数の減少、穂の縮小化

## (3)茎葉処理剤による雑草防除

・気温の上昇とともに雑草の発生が目立ってきています。

雑草の発生状況に応じて、麦の生育ステージを確認して除草剤が散布可能な場合は、散布を検討しましょう。

⇒使用可能な除草剤については次ページの表を参照してください。

表 麦類の使用可能な除草剤（令和5年3月20日現在）

薬 剤	作 物	適用雑草	10aあたり使用量 (散布液量)	使用時期	使用方法	備 考
ハーモニーDF	小麦	一年生広葉雑草 スズメノテッポウ	5~10g (50~100L)	播種後~節間伸長前	雑草茎葉散布 又は全面散布	スズメノテッポウには、 雑草5葉期までに散布。
		一年生広葉雑草	3~10g (50~100L)	節間伸長開始期~穂ばらみ期 ただし収穫45日前まで		
MCPソーダ塩	麦類 (秋播)	一年生及び多年生 広葉雑草	200~300g (70~100L)	幼穂形成期 ただし収穫45日前まで		
エコパート フロアブル	小麦 (秋播)	一年生広葉雑草	50~100mL (100L)	小麦節間伸長開始期まで (広葉雑草2~4葉期, ヤエムグラ2~6節期) ただし収穫45日前まで		

※最新情報で農薬登録を確認のうえ、使用してください。

※農薬使用の際に飛散防止対策を講じたうえで、使用してください。

## ○1 か月予報（仙台管区气象台 3月23日発表）

★期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

向こう1か月(3月25日~4月24日)	天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。 平均気温は、高い確率80%です。降水量は、平年並または多い確率とともに40%です。日照時間は、平年並または少ない確率とともに40%です。
1週目(3月25日~3月31日)	気温は平年に比べて高い確率が80%です。
2週目(4月1日~4月7日)	気温は平年に比べて高い確率が80%です。
3週目(4月8日~4月21日)	気温は平年に比べて高い確率が50%です。

■令和5年春の農作業安全確認運動実施中（令和5年3月1日~5月31日）  
重点推進テーマ「徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策」

令和3年の農業機械作業に係る死亡者数が171件と高い水準にあることを踏まえ、引き続き、春（3~5月）と秋（9~10月）に重点期間を設定して、農業機械作業の事故防止に向けた運動が実施されています。

